

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成29年11月30日 (2017.11.30)

【公表番号】特表2017-501143(P2017-501143A)

【公表日】平成29年1月12日 (2017.1.12)

【年通号数】公開・登録公報2017-002

【出願番号】特願2016-536812(P2016-536812)

【国際特許分類】

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 15/00 (2006.01)

C 0 7 K 14/725 (2006.01)

C 0 7 K 16/18 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 Q 1/66 (2006.01)

A 6 1 K 35/76 (2015.01)

A 6 1 K 35/12 (2015.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/02 (2006.01)

G 0 1 N 33/574 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 K 19/00

C 1 2 N 15/00 A

C 1 2 N 15/00 Z N A

C 0 7 K 14/725

C 0 7 K 16/18

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/10

C 1 2 Q 1/66

A 6 1 K 35/76

A 6 1 K 35/12

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 35/02

G 0 1 N 33/574 A

【手続補正書】

【提出日】平成29年10月20日 (2017.10.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

TSLPRに特異的な抗原結合領域、膜貫通領域、及び細胞内T細胞シグナル伝達領域を含むキメラ抗原受容体(CAR)であって、ここで、前記抗原結合領域が軽鎖可変領域を含み、該軽鎖可変領域が、配列番号18、20、22、24、25、27、及び29の配列、又は配列番号19、21、23、24、26、28、及び29の配列を含む、CAR。

【請求項 2】

TSLPRに特異的な抗原結合領域、膜貫通領域、及び細胞内T細胞シグナル伝達領域を含むキメラ抗原受容体(CAR)であって、ここで、前記抗原結合領域が重鎖可変領域を含み、該重鎖可変領域が、配列番号6、7、9、10、11、13、及び15の配列、又は配列番号6、8、9、10、12、14、及び16の配列を含む、CAR。

【請求項 3】

前記抗原結合領域が配列番号1を含む、請求項1又は2に記載のCAR。

【請求項 4】

前記膜貫通領域がCD8アミノ酸配列を含み、該CD8アミノ酸配列が配列番号35のCD8 ヒンジ配列と配列番号36の配列の膜貫通領域とを含み、前記細胞内T細胞シグナル伝達領域が、配列番号37の4-1BBアミノ酸配列を含み、且つ、前記細胞内T細胞シグナル伝達領域が、配列番号38のCD3ゼータアミノ酸配列を含む、請求項1～3のいずれか1項に記載のCAR。

【請求項 5】

前記CARが、配列番号39～46の配列のいずれか1を含む、請求項1に記載のCAR。

【請求項 6】

請求項1～5のいずれか1項に記載のCARをコードするヌクレオチド配列を含む核酸。

【請求項 7】

被検体におけるガンの存在を検出する方法であって、該方法が、

(a) 請求項1～5のいずれか1項のCAR、又は請求項6に記載の核酸と該被検体由来の1以上の細胞を含む試料を接触させて、それによって複合体を形成させること、及び

(b) 前記複合体を検出すること

を含み、前記複合体の検出がガンの存在を示す方法。

【請求項 8】

請求項1～5のいずれか1項に記載のCAR、又は、請求項6に記載の核酸を含む、哺乳動物のガンの治療又は予防用医薬組成物。

【請求項 9】

請求項1～5のいずれか1項に記載のCAR、又は、請求項16に記載の核酸を含む、哺乳動物におけるIKZF遺伝子の突然変異に関連している増殖性疾患の治療又は予防用医薬組成物。

【請求項 10】

増殖性疾患のある被検体が、請求項1又は2に記載のTSLPRに特異的な抗原結合領域を含むキメラ抗原受容体を用いる治療の候補であるか否かを決定するための情報を収集するための方法であって、該方法が、前記被検体からの生体試料中のTSLPR発現レベルを測定することと、前記生体試料の前記TSLPR発現レベルが、前記増殖性疾患のない対照被検体からの試料と比べて、増加しているか否かを決定することを含む、方法。